

九州歴史資料館	行事・事業予定
展 示	常設展示：「歴史(とき)の宝石箱」【12月18日(金)～3月31日(火)】 (第1・3展示室は10月14日(水)～23日(金)、12月8日(火)～17日(木)、1月26日(火)、3月1日(火)は閉室) 特別展示：10月24日(土)～12月6日(日) 「四王寺山の1350年—大野城から祈りの山へ—」 企画展示：11月 3日(火・祝)～11月29日(日) 第31回 「いろいろな目で見てみたら…みんなが描いた九歴の収蔵品—」 12月 1日(火)～1月24日(日) 第32回 「古代の鍛造技術—筑前の鍛造遺跡と復元実験—」 1月27日(水)～2月28日(日) 第33回 「沖縄の旧石器人と人類の起源」(沖縄県立博物館・美術館との共催) 3月 1日(火)～5月15日(日) 第34回 「西北九州の黒曜石と石刃技法」(科研成果展) パネ 展：9月 3日(水)～10月12日(月・祝) 「九歴ボランティアグループ活動成果展」 3月19日(土) 成果発表会 10月 6日(火)～12月27日(日) 「九州歴史資料館写真技師が撮った1974年～75年の太宰府(春夏秋冬)」 12月 1日(火)～1月24日(日) 「朝鮮半島の文化遺産(5)朝鮮王朝の城郭」 1月 5日(火)～2月28日(日) 「『ふくおか古墳日和』写真展」(仮称) 3月～6月 「福岡鉄道遺産ものがたり3～三池の炭鉱鉄道編～」(※1月26日(火)は臨時閉館) 「保存科学成果展」(仮称)
	九歴講座：全12回 第2土曜日(第9回～第12回は10月より申込開始。定員160名。定員になり次第締切) 義のキャラクター：11月18日(水)、2月17日(水) 19:30～20:30(事前申込不要、但し観覧料が必要) 講 演 会：11月22日(日) 「大宰府四天王寺と秋田城四天王寺」三上喜孝氏(国立歴史民俗博物館 准教授)・松川博一(学芸員)(要事前申込) 12月13日(土) 企画展「沖縄の旧石器人と人類の起源」関連講演会(九歴講座) 文化財めぐり：11月 3日(火・祝) 「四王寺山の聖地を巡る」(申込受付は終了しました) 現地説明会：11月 1日(日) 大宰府史跡「蔵司地区」発掘調査現地説明会(事前申込不要) イベント等：10月25日(日) 特別展開催記念茶会(事前申込不要) 11月 7日(土) 移転開館5周年・特別展開催記念イベント ミュージアムコンサート・神楽・太鼓(事前申込不要) 1月上旬 ナイトミュージアムin 九歴 冬(参加無料、定員30名、要事前申込) 2月14日(日) 企画展関連「こども石器作りイベント」(参加無料、定員30名、要事前申込)
発掘調査	大宰府史跡調査(蔵司地区)・県内遺跡発掘調査 4月～3月
求 菩 提 資 料 館	常設展示：「求菩提修験道の世界」 企画展示：9月19日(土)～10月18日(日) 秋の企画展「海辺に生きる」～清田豊写真展～ 10月24日(土)～11月23日(月・祝) 秋の企画展「光と風の幻想曲(ファンタジア)」～豊前市史跡ガイドボランティアの会写真クラブ作品展～ 1月30日(土)～3月21日(月) 早春企画展「おひなまつり」 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします
甘 木 歴 史 資 料 館	秋季企画展：10月 6日(火)～11月29日(日) 朝倉市制10周年×甘木歴史資料館開館30周年記念「黒川院調査と山岳宗教」 公開講演会：11月14日(土)「北部九州の山岳信仰—英彦山を中心として」桃崎祐輔氏(福岡大学教授) 会場：朝倉市中央図書館 11月28日(土)「黒川院について」篠原浩之(朝倉市教育委員会) 会場：ピーポート甘木 両日とも事前申込不要 史跡探訪：11月 1・8日(日)「黒川院めぐり隊!!」 集合：甘木歴史資料館 両日とも要事前申込 新春企画展：1月 5日(火)～1月24日(日)「新春企画展(仮称)」 春季節展：3月15日(火)～4月 3日(日)「あ！さくら展」 「さくらコンサート」3月26日(土)予定 いずれも入場・参加費無料
柳 川 古 文 書 館	特別展：9月 9日(水)～10月12日(月・祝)九州歴史資料館移転開館5周年・柳川古文書館開館30周年記念特別展 「海西に二巨儒あり—安東省菴と貝原益軒」 10月15日(木)～12月27日(日) 柳川市合併10周年・柳川古文書館開館30周年記念特別展「世界のなかの安東省菴—その学問と交流」 1月 6日(水)～2月 7日(日) 柳川古文書館開館30周年記念特別展「地図と絵はかきで見る柳河」(仮称) 企画展：2月10日(水)～4月 3日(日)「松井家・立石家のおひなさま」 公開討論：12月 5日(土)13時～17時 公開討論「安東省菴とその時代」*入場無料、柳川市立図書館2階AVホール 国際シンポジウム：12月 6日(日)13時～17時 柳川市合併10周年・柳川古文書館開館30周年記念国際シンポジウム「世界のなかの安東省菴」 徐興慶氏(台湾大学教授)・ロバートキャンベル氏(東京大学大学院教授)ほか *入場無料、柳川市市民館

各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページをご覧ください。



福岡県内の指定文化財

雷山神籠石 [国指定史跡]

糸島市雷山・飯原

雷山神籠石は、雷山(標高955.4m)から北にのびる尾根のその谷部に造られた古代の山城です。列石は谷部の不動池を囲むように北側(長さ105.3m)と南側(長さ181.8m)で確認されており、外郭は東西300m、南北700mほどの規模となります。北側の谷部には長さ12.6m、幅7.2m、高さ3.0mの切石積みの堤体があり、そこには上下合わせて3か所の通水溝(水門)を設けています。この通水溝のことを貝原益軒は、『筑前国統風土記』の中で「箇の瀧とて、雷山の西の山谷より北に向て流るる瀧あり」と記しています。また、尾根からは博多湾や玄界灘を望むことができ、雷山神籠石は見張り場のような役割を担ったとみられます。



雷山神籠石北水門 (糸島市教育委員会提供)

九州歴史資料館 KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3

☎ 0942-75-9575

FAX 0942-75-7834

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

●公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線「三国が丘駅」から徒歩約12分  
《JR》鹿児島本線「原田駅」からタクシーで約5分

●自動車

《九州自動車道》筑紫野1.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分  
《大分自動車道》筑後小郡1.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分  
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分  
※無料駐車場完備

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は4時まで)  
観覧料 一般 200(150)円 高大生 150(100)円  
満65歳以上・中学生以下・障がい者(同伴介護者1名) 無料  
※土曜日は高校生も無料  
※( )内は団体料金(20名以上)  
休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
1月26日(火)は臨時閉館



編集・発行 九州歴史資料館 印刷 株三光

九歴だより 平成二十七年十月(第四十二号)

特別展

## 四王寺山の1350年—大野城から祈りの山へ—



大野城のすべて、  
そして、あなたの知らない  
「四王寺山」に出逢えます

特別展

## 「四王寺山の1350年—大野城から祈りの山へ—」開催!

大野城跡や県民の森として知られる四王寺山。あるときは防衛の最前線として、あるときは仏教の聖地として、さまざまな歴史の舞台となってきました。

本展では、665年の大野城の築造にはじまり、四天王寺の建立や経塚文化の盛行、原山や崇福寺の興隆、南北朝の動乱や岩屋城の戦い、祭祀・伝承にいたるまで四王寺山1350年の歴史を振り返ります。

国宝・重要文化財約20件をはじめ、ゆかりの遺宝を通して「大野城」のすべて、そして、「四王寺山」の多様な姿をご紹介します。

会 期 平成27年10月24日(土)～12月6日(日)

場 所 九州歴史資料館第1展示室(要観覧料:通常料金で観覧いただけます)

お知らせ 特別展開催記念講演会:11月22日(日)(要申込み)

「大宰府四天王寺と秋田城四天王寺」三上喜孝(国立歴史民俗博物館准教授)・松川博一学芸員

## 第31回企画展

第2・4 展示室

### いろいろな目で見てみたら… —みんなが描いた九歴の收藏品—

平成27年11月3日(火・祝)～平成27年11月29日(日)

昔の人々が生活のために使用した土器・石器、古代の役所に置かれた鬼瓦、平安時代に造られ各地のお寺に伝わった仏像…。九州歴史資料館の展示室にはさまざまな收藏品があります。これらの文化財を、小学生・中学生・大学生のほか、絵手紙を描かれる方々など約130名に好きなものを感じたままに描いてもらいました!!

普段は学芸員が書いた解説をたよりに文化財を鑑賞しますが、今回は想像力豊かな世界を描き出したこれらの絵が解説代わり。実物資料とみなさんが描いた絵画作品を見比べ、文化財が秘めた豊かな世界を思い描いてみませんか?



## 第32回企画展

第2 展示室

### 古代の鑄造技術 —筑前の鑄造遺跡と復元実験—

平成27年12月1日(火)～平成28年1月24日(日)

金属を溶かし、さまざまな製品を作り出す「鑄造」技術。北部九州は日本列島の中でも最も古くに鑄造技術が伝わって来た地域で、旧筑前国の太宰府や芦屋などでは、古代から中世にかけて活発な鑄造活動が行われ、発掘調査によりその痕跡である鑄造遺跡が見つかっています。

本展では、筑前地域で発掘された鑄造遺跡を、出土品を交えながら紹介するとともに、筑前鑄造遺跡研究会が行った「鑄造復元実験」について紹介し、出土遺物からだけではわかりにくい鑄造活動の実態に迫ります。

協力：芦屋町教育委員会・筑前鑄造遺跡研究会



芦屋町金屋遺跡甕炉検出状況 (芦屋町教育委員会提供)

鑄造実験の様子

## 第33回企画展

第1・2・4 展示室(一部要観覧料)

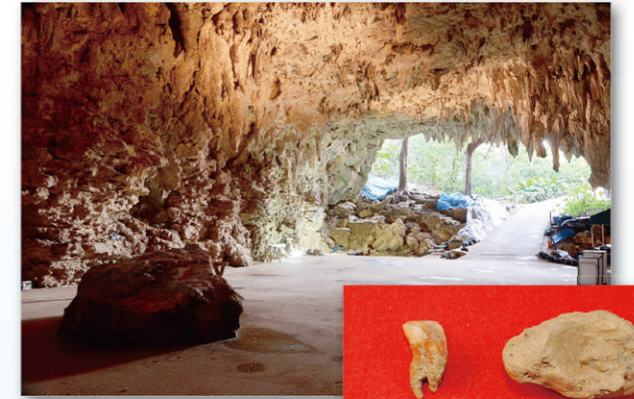
### 沖縄の旧石器人と人類の起源

平成28年1月27日(水)～2月28日(日) 主催：沖縄県立博物館・美術館

九州の南方の海上に浮かぶ沖縄の島々では、旧石器時代の人骨化石が数多く発見されています。特に約2万年前の「港川人」は、日本列島の旧石器人を代表する人骨として、広く知られています。近年、沖縄各地の発掘調査では、旧石器時代やそれに続く時代の人骨や石器、貝器などの遺物が発見され、これまでの人類史を書き換える成果が得られています。

本企画展は、人類の起源と進化の歴史を紐解きながら、近年の沖縄における旧石器人とその文化に関する、最新の調査研究成果をわかりやすく展示します。そして、九州以北とは異なる展開を遂げた沖縄の人類史についても、出土品を通して紹介します。

※2月13日(土)には、関連講演会を開催。



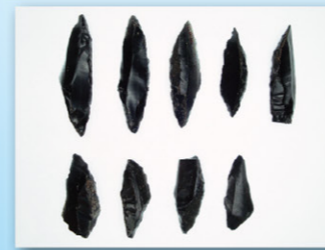
サキタリ洞遺跡の内部

サキタリ洞遺跡Ⅱ層出土の人骨と貝器 (沖縄県立博物館・美術館蔵)

## 第34回企画展

### 西北九州の黒曜石と石刃技法

平成28年1月27日(水)～2月28日(日)



ひよつかい 百花台遺跡出土ナイフ形石器 (雲仙市教育委員会蔵)

日本列島では、かつての火山地帯周辺に多くの黒曜石が産出することが知られています。列島の旧石器人は、このガラス質の黒く光る、鋭く割れる石を使って、様々な技術を駆使しながら石器を作りました。石材から縦長の剥片をいくつも剥ぎ取る技術—石刃技法—もその一つであり、それは旧石器人の遊動と狩猟生活の中で、良質な黒曜石を獲得しつつ繰り返した石器づくりによって洗練されていったのです。

本企画展では、西北九州の黒曜石原産地と石刃技法に関する最新の研究成果を展示するとともに、旧石器時代の「石の匠」の世界を紹介します。

伊都国歴史博物館・九州歴史資料館 共同開催特別展

### 国境の山岳信仰 —脊振山系の聖地・霊場を巡る—

会場：伊都国歴史博物館企画展示室(糸島市井原)

平成28年1月30日(土)～3月13日(日)

福岡県と佐賀県との境に聳える脊振山系には、古来より山に対する信仰によって、数多くの聖地・霊場が営まれてきました。脊振山や雷山など、脊振山系の山岳信仰に関わる資料を展示し、筑前と肥前の国境でくり上げられた山岳信仰について紹介します。

※3月6日(日)には講演会を開催予定。

詳細は伊都国歴史博物館(TEL:092-322-7083)にお問い合わせください。



山系稜線からみた脊振山頂

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録記念 パネル展

### 福岡鉄道遺産ものがたり 3

—三池の炭鉱鉄道編—

平成28年1月5日(火)～2月28日(日)

本年、ユネスコの世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」。その中には、かつて三池炭鉱から石炭を運んだ炭鉱鉄道が含まれています。本展では世界遺産登録を記念して、この炭鉱鉄道の鉄道遺産についてご紹介します。

主催：九州歴史資料館・「福岡県近代化産業遺産」世界遺産登録連絡会議(福岡県、北九州市、大牟田市、中間市)



炭鉱鉄道の電気機関車

文化情報広場